



# ユーザーマニュアル

# VIA GO<sup>2</sup>

# ワイヤレスプレゼンテーション

---

P/N: 2900-301300 Rev.1

日本語訳 J1

2021年7月

バージョン3.1



## 1 はじめに

お買い上げいただき有難うございます。

VIA GO<sup>2</sup> は PC やスマートフォンなどのモバイルデバイスをケーブルなしでディスプレイやプロジェクターに投影できるワイヤレスプレゼンテーションツールです。

同時に 2 台までのモバイルデバイスの映像を同じ画面に投影できます。

### ◆投影方法

3 種類の投影方法があり、ユーザーの使い勝手に合わせた選択が可能です。

- ① VIA アプリを使用して投影 (iOS, Android, Chromebook, MAC OS, Windows に対応)  
(既存 VIA シリーズモデルと同じ使用方法ですので、本マニュアルでは 4 章で基本の使い方のみ説明しています)
- ② iOS や MAC OS の場合、[Airplay](#) を利用して投影
- ③ <新機能>Android や Windows の場合、[Miracast](#) を利用して投影 (\*1)

●詳しくは 3.2 章「モバイルデバイスの画面を投影する」で解説します。(p.15)

### ◆モバイルデバイスとの接続方法

VIA GO<sup>2</sup> には Wi-Fi アクセスポイントが内蔵されていますので、

- ① 内蔵アクセスポイントを使用して直接 VIA GO<sup>2</sup> に Wi-Fi 接続できます。
- ② 外部アクセスポイントを有線 LAN で VIA GO<sup>2</sup> と接続して Wi-Fi 接続することも出来ます。
- ③ 有線 LAN で直接接続することも可能です。

●設定の仕方は 3.1.2 項「ネットワークを設定する」で解説します。(p.6)

(\*1 Miracast 利用の場合は内蔵 Wi-Fi は使用できません)

## 2 VIA GO<sup>2</sup>の各部について

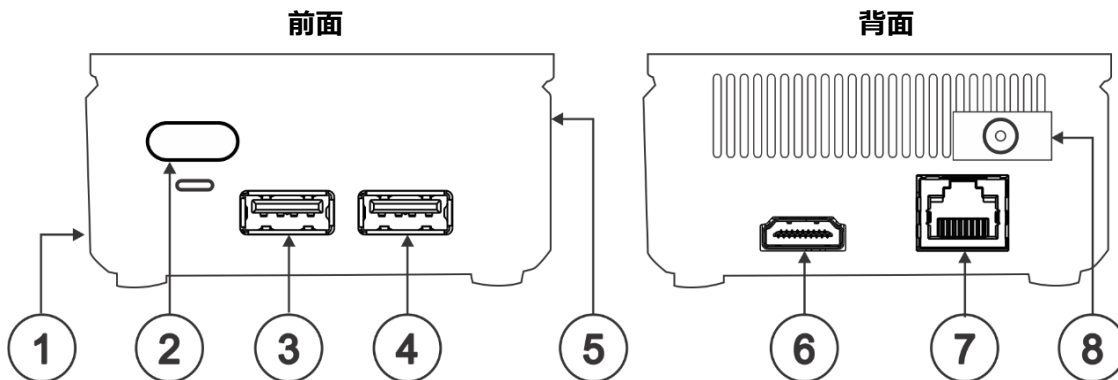
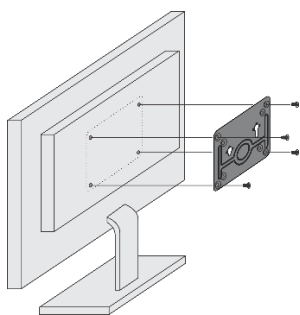


図1 各部の名称

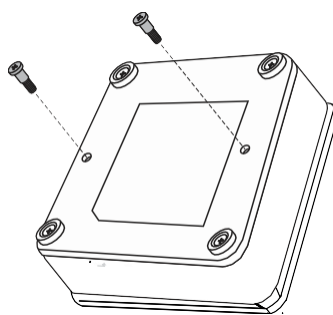
No.	名称	説明
1	マイクロSDカードスロット	使用できません
2	電源ボタン & LED	電源を入れるときと切る時に軽く押します
3	USB 3.0 コネクター	キーボードやマウスなどのUSBデバイスを接続します
4	USB 2.0 コネクター	キーボードやマウスなどのUSBデバイスを接続します
5	ロック用ホール	セキュリティロックケーブルを接続します
6	HDMI™ 出力コネクター	HDMIシンク機器（ディスプレイ等）に接続します
7	RJ-45 (LAN) コネクター	有線LANに接続します（初期モード）.
8	電源コネクター	付属のACアダプター（12V）を接続します

### 2.1 VIA GO<sup>2</sup>を設置する

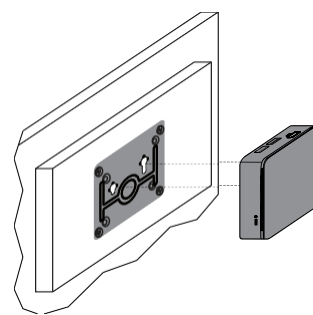
本体を平らな面に置いて使用するか、付属の VESA 取り付けブラケットを使用してディスプレイの壁または背面に取り付けます。



1) VESA 取り付けブラケットを 4 本のネジでディスプレイの背面に取り付けます



2) 2 本のネジを本体の底に固定します。



3) 2) で取り付けられた底面の 2 本のネジを取り付けブラケットのスロットに挿入します

## 2.2 機器を接続する

機器を VIA GO<sup>2</sup> に接続する前に必ず各デバイスの電源をオフにしてから接続を行ってください。

- ① 付属の AC アダプターを本体背面のジャックに接続します
- ② 本体背面の HDMI 出力端子に HDMI ケーブルを接続し、ディスプレイやプロジェクターと接続します。
- ③ 背面の LAN 端子に LAN ケーブルの RJ-45 コネクターを接続し、外部アクセスポイントやローカルエリアネットワークに接続します。（VIA GO<sup>2</sup> 内蔵の Wi-Fi のみを使用する場合は接続不要です） → **ネットワークへの接続については 3.1 章 (p.5)**
- ④ 前面の USB 端子に、マウスやキーボードを接続します(設定用)。（PC を使って LAN 経由で設定する時は接続不要です） → **詳細は 3.1.4 項 (p.12)**

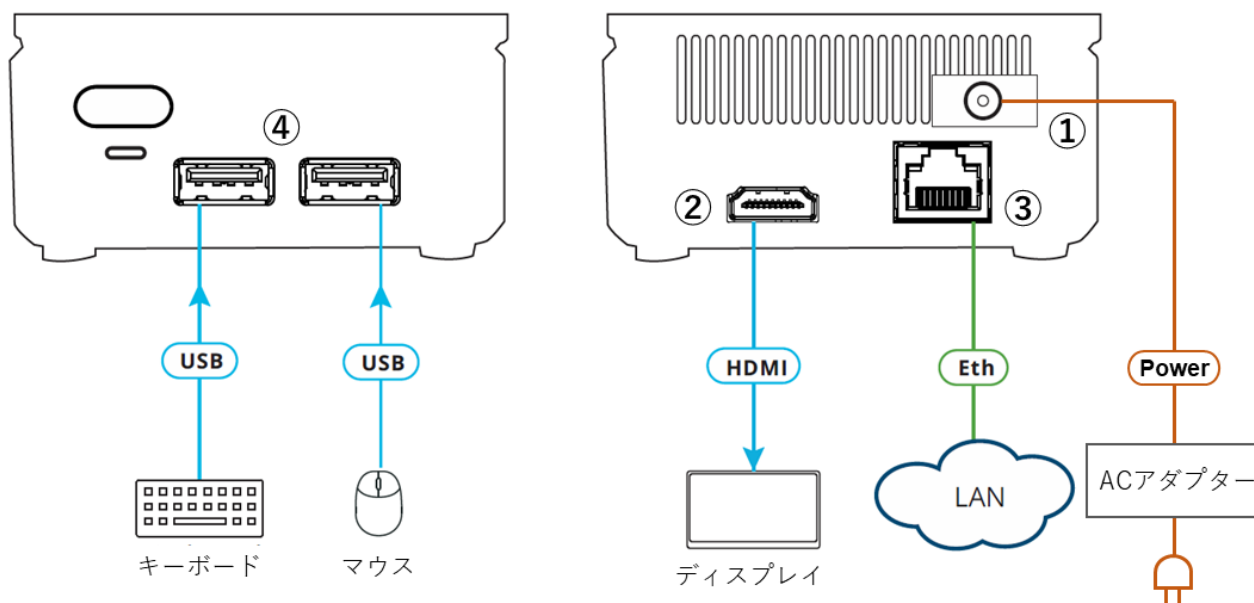


図 2 周辺機器の接続

### 3 VIA GO<sup>2</sup>を使用する

モバイルデバイスからの映像をディスプレイデバイスに投影するための手順を記述します。

- ネットワークの設定をする → 3.1 章 (p.5)
- 投影の仕方を選ぶ → 3.2 章 (p.15)

#### 3.1 ネットワークの設定をする

##### 3.1.1 ネットワークに接続する方法

VIA GO<sup>2</sup>をネットワークにつなぐには2通りの方法があります。

A) 内蔵 Wi-Fi を使用する

- AP モードを使用する（内蔵 Wi-Fi が直接モバイルデバイスと通信する）→3.1.3.2(A)
- クライアントモードを使用する（無線で接続した外部 Wi-Fi アクセスポイント経由でモバイルデバイスと通信する）→3.1.3.2(B)

B) 内蔵 Wi-Fi を使用せず、LAN ポートでネットワークに接続する →3.1.3.1

- 外部 Wi-Fi アクセスポイントに有線で接続し、モバイルデバイスと Wi-Fi で通信する
- LAN ポートを有線ネットワークと接続し、同じネットワークに有線で接続されたモバイルデバイスと通信する

(※ B) i と ii は併用できます)

注) A)を選択した時には Miracast を使った接続 (3.2 章参照) はできません。

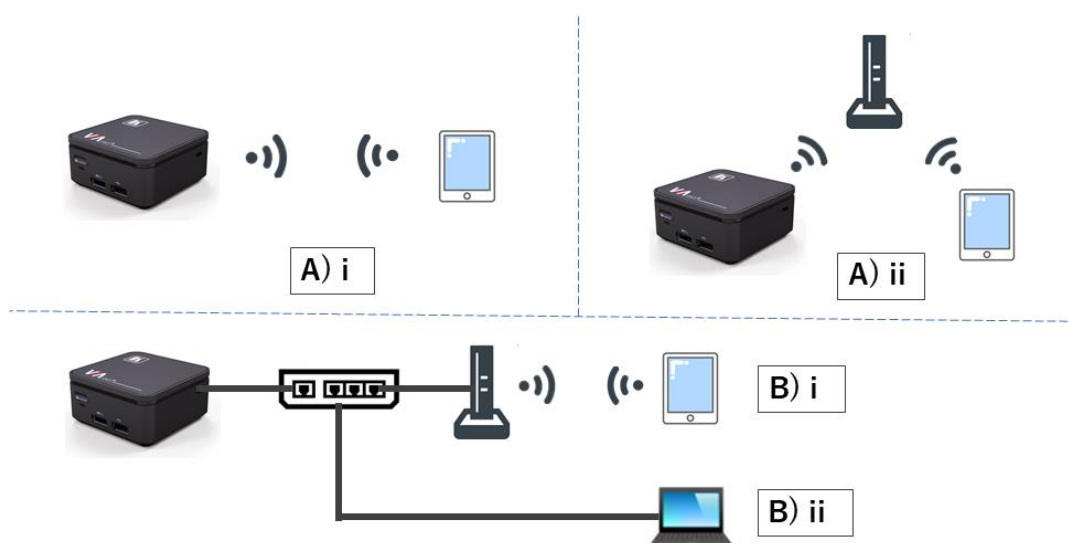


図3 ネットワークの接続方法

### 3.1.2 ネットワークを設定する

VIAGO<sup>2</sup>のネットワーク設定を行うには、内蔵 WEB ページにて行います。

お買い上げ時には内蔵 Wi-Fi がオフになっていますので、図 3 の B)i または B)ii の接続で、PC やモバイルデバイスの WEB ブラウザーを使用して内蔵 WEB ページにアクセスして設定されることをお勧めします。

- 1) VIA GO<sup>2</sup> にディスプレイやプロジェクターなどを接続し、本体の電源を入れます。  
ディスプレイ上に以下の画面が表示されます

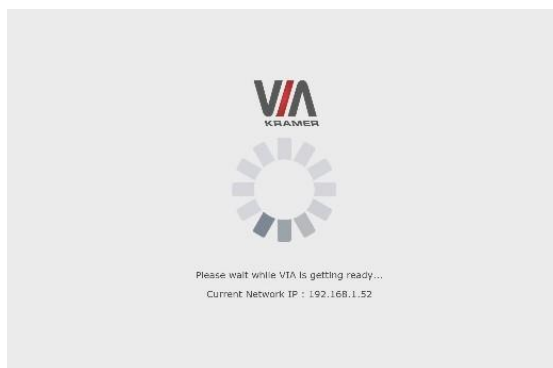


図 4 VIA 起動中画面

- 2) しばらくすると下図 5 のトップ画面が表示されます。

※**No Network Found** という文字が表示されて起動中画面が続く場合は  
**3.1.4** 項に進んで下さい。

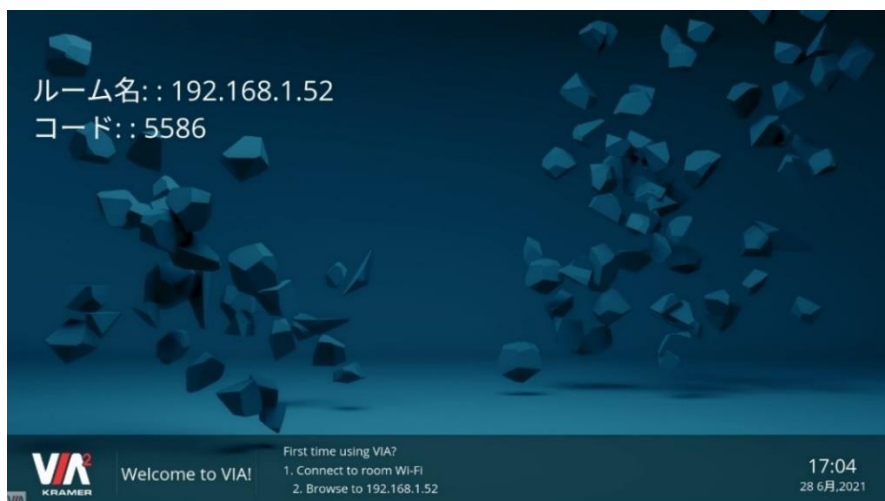


図 5 トップ画面

VIA GO<sup>2</sup>のネットワーク初期設定は DHCP です。接続されているネットワークに DHCP サーバーがあれば、図 5 のように、VIA GO<sup>2</sup>の IP アドレスはルーム名として表示されます。

- ・この IP アドレスを使用して投影を始める場合 →3.2 章へ
- ・IP アドレスを固定アドレスに変更する場合 →3.1.3 項へ
- ・DHCP サーバーがなく、上図 5 のトップ画面が出ない場合 →3.1.4 項へ

### 3.1.3 固定 IP アドレスを設定する

- 1) VIA GO<sup>2</sup>と同じネットワークに PC やタブレットなどを接続します。
- 2) WEB ブラウザーにて、ルーム名に表示された IP アドレスにアクセスします。
- 3) IP アドレスを入力すると下図 7 の「ようこそ」画面が PC 上に表示されます。

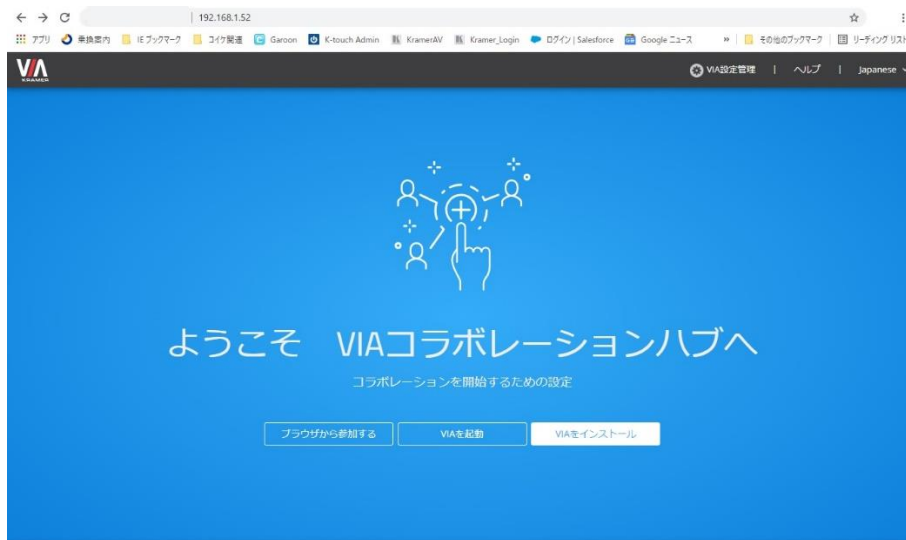


図 6 内蔵 WEB ページようこそ画面

- 4) この画面で、右上の「VIA 設定管理」の文字をクリックします。
- ※「この接続ではプライバシーが保護されません」（ブラウザにより若干異なります）などという表示が出る場合がありますが、[詳細設定]ボタンをクリックして、(安全ではありません)が表示されていても IP アドレスに接続します。下図 7 の画面が表示されます。

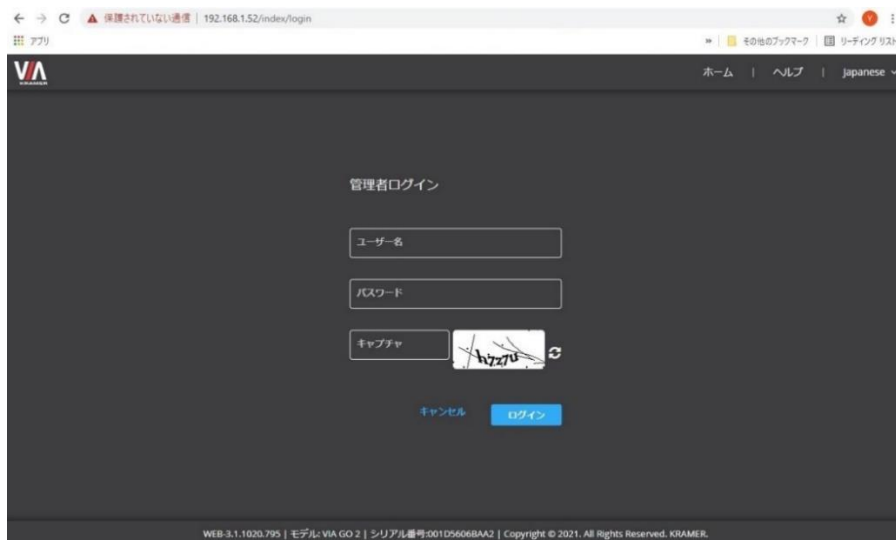


図 7 管理者ログイン画面

5) ここで以下の内容をキーボードから入力します

ユーザー名 : su

パスワード : supass

キャプチャ : 白枠内の文字を目視して入力します。

見にくければ右側の丸い矢印ボタンをクリックすると新しい文字列が表示されます

6) 全部入力して[ログイン]ボタンをクリックします。

図 8 の画面が表示されます。

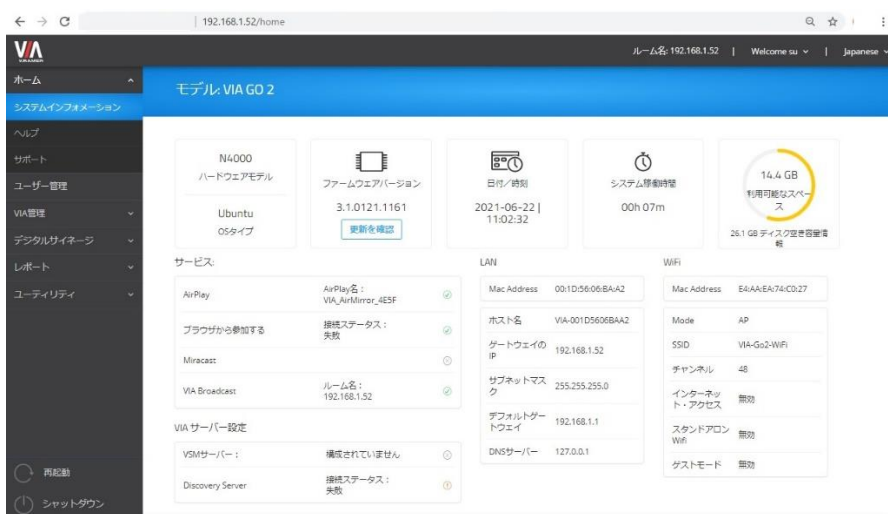


図 8 システムインフォメーション画面

この画面で VIA GO<sup>2</sup> 本体の各設定状態を確認できます。

7) ネットワーク設定を変更するには、左側のナビゲーションリストから[VIA 管理]の文字の横のvマークをクリックします。

8) メニューが表示されるので[ネットワーク設定]の文字をクリックします。下図 9 の画面が表示されます。





図 9 ネットワーク設定トップ画面

### 3.1.1.1 有線 LAN を設定する

図 9 で左上の「LAN 設定」にオレンジの下線がある時、有線 LAN の設定を行います。初期設定は DHCP です。固定(Static)アドレスを設定するには[Static]ラジオボタンを選択して、その下の IP アドレスなど各項目を設定し、[適用]ボタンをクリックしてください。

### 3.1.3.2 Wi-Fi を設定する

図 9 で左上の「Wi-Fi」をクリックするとオレンジの下線が付いて、下図 10 の画面が表示されます。



図 10 Wi-Fi 設定画面

内蔵 Wi-Fi を使用する場合には、Wi-Fi 設定のスライドバーを動かしてオンにしてください。Wi-Fi をオンにすると下図 11 の画面が現れます。

※注：Miracast の設定がオンになっているとメッセージが表示されて Wi-Fi をオンに出来ません。Miracast をオフにしてから再度 Wi-Fi をオンに設定してください。

(Miracast の有効/無効を切り替える →3.2.3 項)

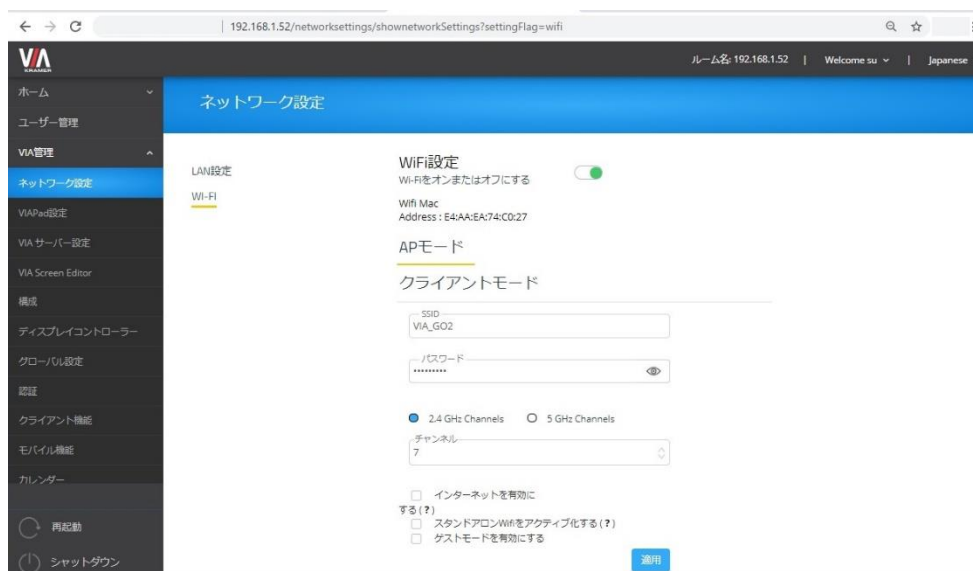


図 11 Wi-Fi 詳細設定画面

A) APモード：VIA GO<sup>2</sup>に内蔵のWi-Fiアクセスポイントを使用してモバイルデバイスを直接つなぐ場合にはこのモードに設定します。

図11の画面でSSIDとパスワード、及び使用する周波数帯とチャンネルを設定して[適用]ボタンをクリックして設定を保存します。

B) クライアントモード：VIA GO<sup>2</sup>の内蔵アクセスポイントで、近傍のWi-Fi電波を受信してワイヤレスネットワークに接続します。Wi-Fiルーターに有線LANで接続する場合と同じ使い方になります。

クライアントモードの文字をクリックすると下図12に示す注意画面が表示されます。

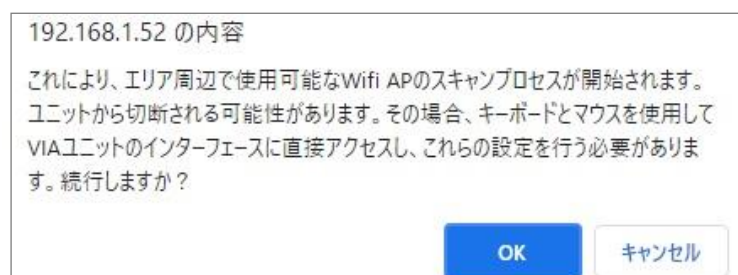


図12 クライアントモードメッセージ

VIA GO<sup>2</sup>が近傍のWi-Fiアクセスポイントのサーチを開始します。

もしこのサーチによりお使いのブラウザから設定画面が見えなくなった場合は、マウスをVIA GO<sup>2</sup>のUSB端子に接続して、3.1.4項の手順に従って設定してください。

サーチが終了したら下図13の画面が表示されます。

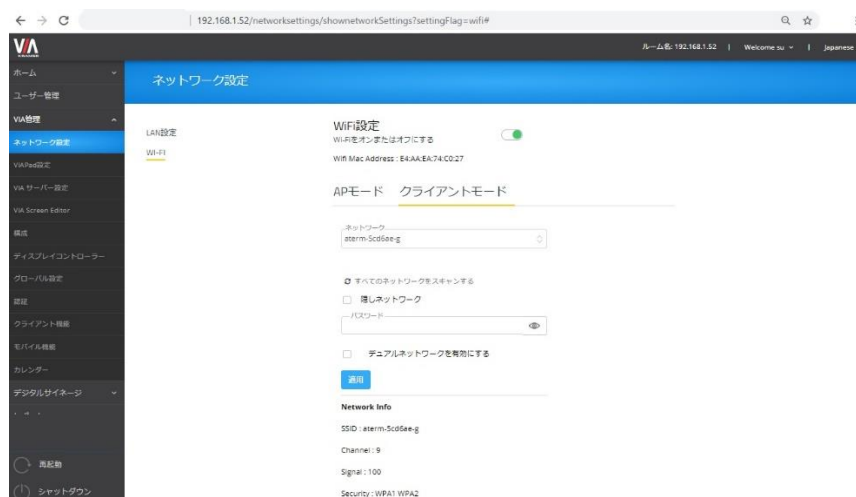


図13 クライアントモード設定画面

近傍のアクセスポイント一覧が表示されない場合は[すべてのネットワークをスキャンする]をクリックしてください。

スキャンが完了するとアクセス可能なWi-FiのSSIDがプルダウンに表示されますので、希望のIDを選択しパスワードを入力して[適用]ボタンをクリックし保存してください。

### 3.1.4 マウスとキーボードを使用して設定する

VIA GO<sup>2</sup>をネットワークに接続しなくても各種設定を行うことができます。

用意するもの：ディスプレイ、HDMI ケーブル、USB マウス。

ソフトキーボードを画面に表示できますが、USB キーボードがあれば便利です。

#### ●手順

- 1) 4 ページの図 2 のように VIA GO<sup>2</sup> 本体にディスプレイとマウスを接続し、AC アダプターを接続した後、電源ボタンを押して電源を入れてください。



図 14 トップ画面

上図 14 (図 5 と同じ) のトップ画面がディスプレイに表示されます。

- 2) マウスを動かしてカーソルが動くことを確認し、画面左下の VIA ログ (図 13 の赤丸で示した部分) をクリックします。



図 15 マウスログイン画面

図 15 のようにログインのポップアップが表示されます。

3) 接続したキーボード、または画面に表示されたソフトキーボードにて

ユーザー名 : su

パスワード : supass と入力します。

ソフトキーボードが表示されない場合はポップアップ内のキーボードのアイコンをクリックしてください。

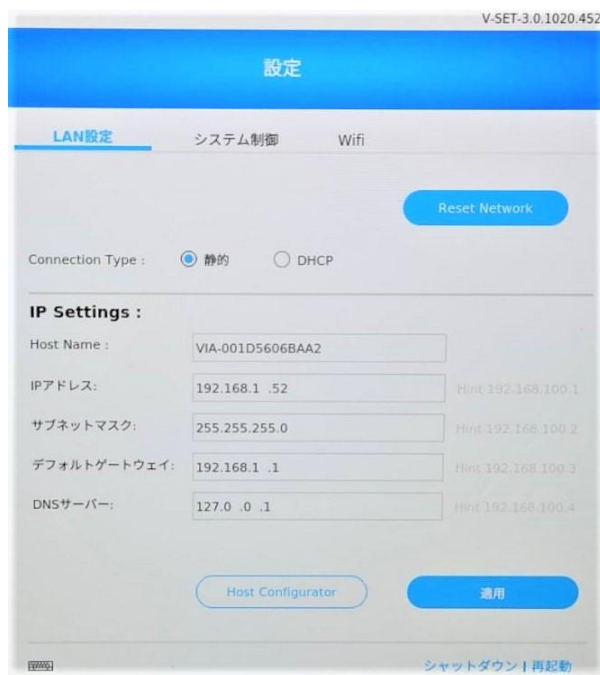


図 16 設定画面

#### 3.1.4.1 有線 LAN を設定する

図 16 の画面にて「LAN 設定」タブで有線 LAN の各種設定を行います。  
設定項目は 3.1.3.1 項にて説明したブラウザでの設定内容と同じです。  
設定終了したら[適用]ボタンをクリックします。

#### 3.1.4.2 Wi-Fi を設定する

図 16 にて「Wifi」タブをクリックします。



図 17 Wi-Fi 設定画面トップ

Wi-Fi を有効にするためには図 17 の画面のスライドスイッチを右に動かし、Wi-Fi オンに設定します。

オンにすると下図 18(AP モード)、図 19(クライアントモード)の画面が表示されます。

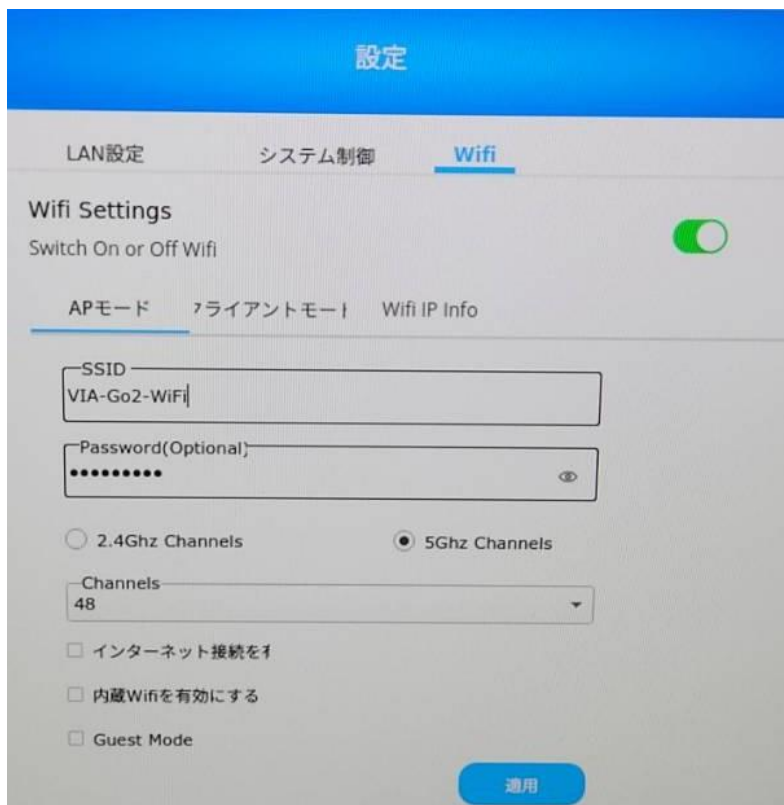


図 18 AP モード設定画面



図 19 クライアントモード設定画面

AP モードまたはクライアントモードを選択し、各画面に従って内容を設定します。各項目についてはブラウザーでの設定の説明 **3.1.3.2** 項を参照ください。設定が終了したら[適用]ボタンをクリックして確定します。

## 3.2 モバイルデバイスの画面を投影する

以下のモバイルデバイスの画面上に表示される画像を、VIA GO<sup>2</sup>に接続されたディスプレイ上に投影することができます。

VIA GO<sup>2</sup>では他のVIAシリーズ製品のようにVIAアプリを使用して投影することも可能ですが、本マニュアルではアプリなしで投影できるキャストイングについて説明します。

### ◆対応のモバイルデバイス

- ・ iOS 搭載のデバイス (iPhone、iPad など) (iOS12 以降推奨)
- ・ Android OS 搭載のデバイス (スマートフォン、タブレットなど) (Android 5.1 以降)  
※一部メーカーの Android 端末では Miracast 接続が正しくできないことがあります。
- ・ Windows 搭載の PC (Windows10)
- ・ MAC OS 搭載の PC (OS X10.8 以降)
- ・ Chromebook 搭載の PC

### ◆投影方法

3種類の投影方法があり、ユーザーの使い勝手に合わせた選択が可能です。

- ① VIAアプリを使用して投影 (iOS, Android, Chromebook, MAC OS, Windowsに対応)  
(既存VIAシリーズモデルと同じ使用方法ですので、本マニュアルでは割愛します)  
※別途発行する「VIAアプリの使用マニュアル」を参照ください。
- ② iOSやMAC OSの場合、**Airplay**を利用して投影 →3.2.2項
- ③ <新機能>AndroidやWindowsの場合、**Miracast**を利用して投影 →3.2.3項

### 3.2.1 各デバイスが対応するネットワーク設定

	内蔵 Wi-Fi AP	外部 Wi-Fi /*内蔵 Wi-Fi クライアントモード*	有線 LAN
iOS	アプリ/ <b>Airplay</b>	アプリ/ <b>Airplay</b>	N/A
MAC OS	アプリ/ <b>Airplay</b>	アプリ/ <b>Airplay</b>	アプリ/ <b>Airplay</b>
Android	アプリ	アプリ/ <b>Miracast</b>	N/A
Windows10	アプリ	アプリ/ <b>Miracast</b>	アプリ/ <b>Miracast</b>

表 1 OS 別 ネットワーク/キャストイング一覧表

\*注 Miracast を有効にした場合は内蔵 Wi-Fi はオフになりますので、外部 Wi-Fi または有線 LAN でご使用ください。

## 3.2.2 AirPlay での投影方法 (iOS, MAC OS)

### 3.2.2.1 VIA GO<sup>2</sup> の設定で Airplay を有効にする

6 ページの 3.1.2 項で紹介した手順で、PC から VIA GO<sup>2</sup> の管理画面にログインして設定を行います。

メニューの「VIA 管理」> 「構成」を選びます、

下図 20 の画面が表示されます。

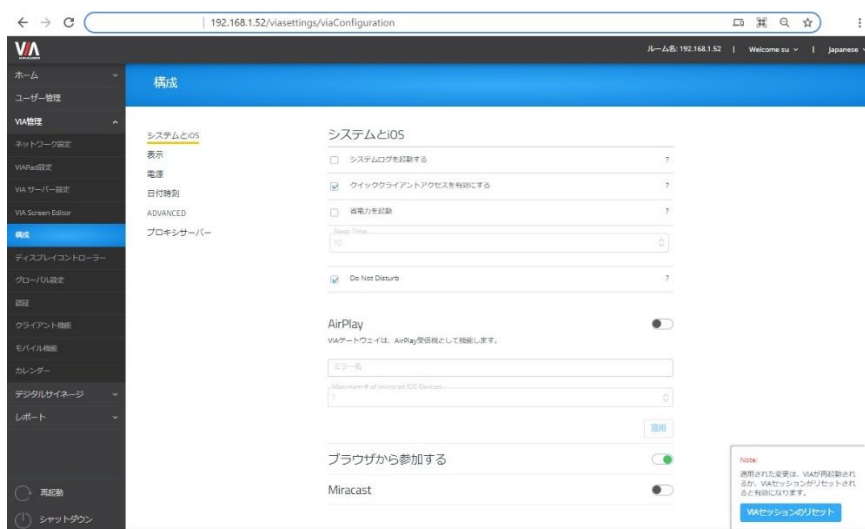


図 20 システムと iOS 設定

この画面で AirPlay と後述する Miracast の設定が出来ます。

- 1) Apple の OS による Airplay を有効にするには図 20 の「AirPlay」のスライドスイッチを右にスライドします。スイッチボタンが緑色に変わります。
- 2) AirPlay のミラー名を設定できる画面が出るので、必要に応じて変更します。(図 21)

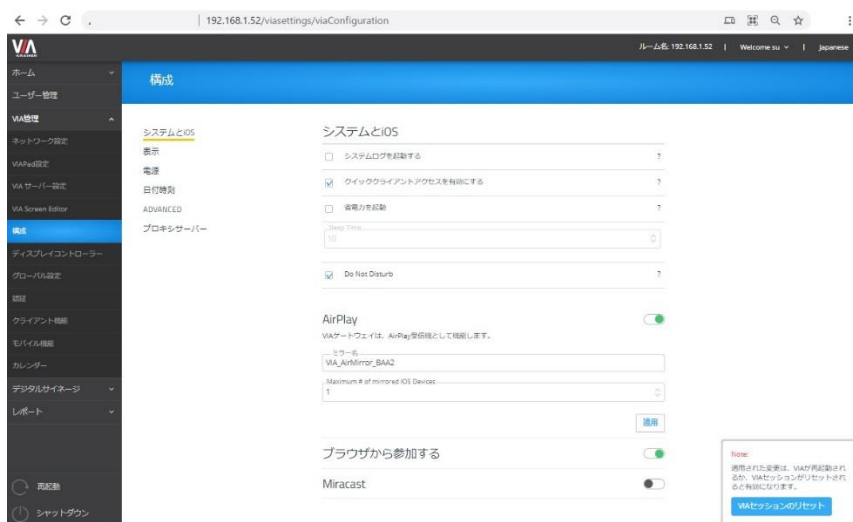


図 21 AirPlay 設定画面



- 3) 同時に使用できる最大デバイス数が設定できます。2 デバイスで使用する場合は数字を変更します。
- 4) 設定が終了したら右下の青い[VIA セッションのリセット]ボタンをクリックして内容を確認します。VIA GO<sup>2</sup>はリブートし、設定が有効になります。
- 5) 図 21 の「Do Not Disturb」にチェックが入っていると、VIA アプリで投影しているデバイスがある間は、ミラーリングによるデバイスの投影は禁止されます。

### 3.2.2.2 Airplay を使って投影する

- 1) iPad、iPhone、MAC PC などの投影したい Apple デバイスを、VIA GO<sup>2</sup>が接続されているネットワークに Wi-Fi や有線で接続します。
- 2) iPad や iPhone デバイスの場合は画面の右上から左下に向かって画面をスワイプすると、下図 22 のようなコントロールセンターのメニューが表示されます。「画面ミラーリング」をクリックして 4)に進みます。



図 22 iOS コントロールセンター

- 3) Mac Book を使用する場合は、画面右上の Apple メニューバーにある AirPlay アイコンをクリックすると下図 23 の画面が表示されます。



図 23 Mac Book メニュー

- 4) スクリーンミラーリストが表示され、接続可能な VIA GO<sup>2</sup>の AirPlay デバイス名が表示されます。図 21 で示したミラー名です。(書式: VIA\_AirMirror\_XXXX) 接続したいデバイス名をクリックします。

- 5) ルームコードが有効になっていれば、VIA GO<sup>2</sup>に接続したディスプレイ上に数字4桁のルームコードが表示されるので、それを入力します。
- 6) ディスプレイ上にモバイルデバイスの画面が投影されます。
- 7) 投影を終了するには再度画面の右上から左下にスワイプをしてコントロールセンターを再表示し、ミラーリングを停止するをクリックします。

### 3.2.3 Miracast での投影方法(Android, Windows)

#### 3.2.3.1 VIA GO<sup>2</sup>の設定で Miracast を有効にする

AirPlay の設定と同様に VIA GO<sup>2</sup>の管理画面にログインして設定を行います。

メニューの「VIA 管理」> 「構成」を選びます、

下图 24 の画面が表示されます。

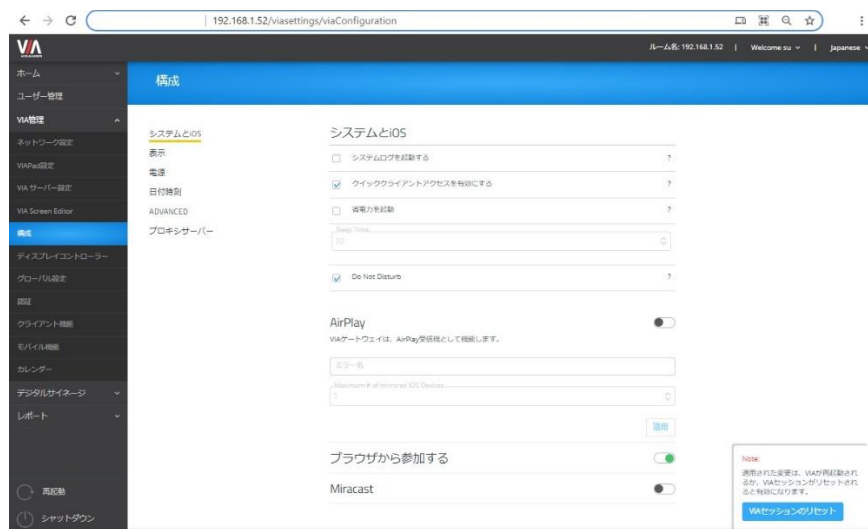


図 24 システムと iOS 設定

- 1) Miracast を有効にするには、図 24 の「Miracast」のスライドスイッチを右にスライドします。スイッチボタンが緑色に変わります。

※ 注：内蔵 Wi-Fi がオンになっていると下图 25 のメッセージが表示されて Miracast を有効にできません。ネットワーク設定(3.1.3.2 項または 3.1.4.2 項)で Wi-Fi をオフにしてからもう一度やり直してください。

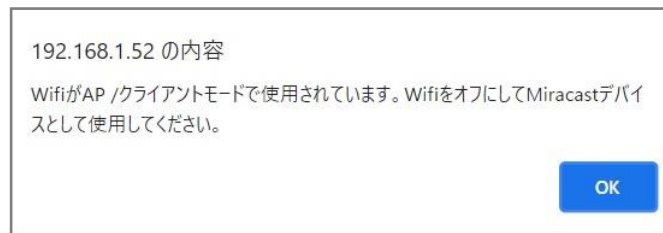


図 25 Miracast メッセージ

- 2) Miracast を ON にすると下図 26 のように Wi-Fi の周波数を選択できるようになりますので、どちらかのラジオボタンを選択します。

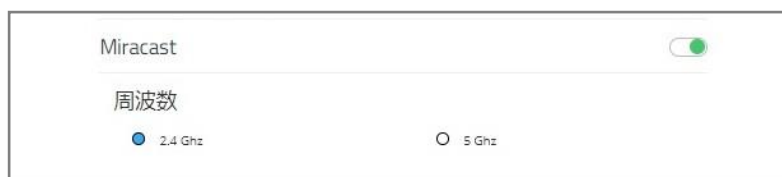


図 26 Miracast 設定

- 3) 設定が終了したら右下の青い[VIA セッションのリセット]ボタンをクリックして内容を確認します。VIA GO<sup>2</sup>はリブートし、設定が有効になります
- 4) 図 24 の「Do Not Disturb」にチェックが入っていると、VIA アプリで投影しているデバイスがある間は、ミラーリングによるデバイスの投影は禁止されます。

### 3.2.3.2 Miracastを使って投影する

Android や Windows などの投影したい Apple デバイスを、VIA GO<sup>2</sup>が接続されているネットワークに Wi-Fi や有線で接続します。

#### ● Android 端末の場合

- 1) Android の場合は機種によりますが、基本的には画面の上部から下方に向かってスワイプすると下図 27 のようなメニューが表示されますので、「キャスト」をクリックします。

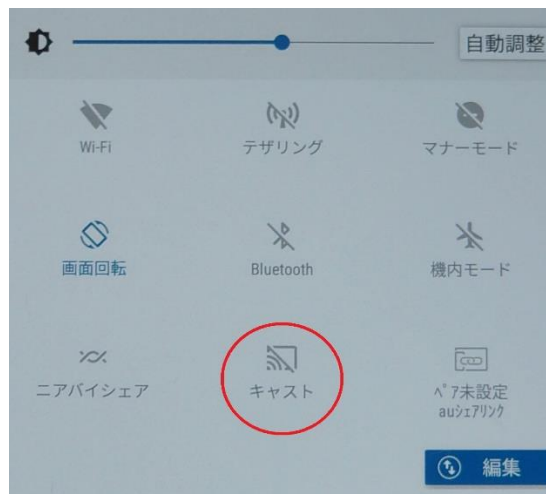


図 27 Android メニュー

- 2) 画面の指示に進んでいくと、Miracast 対応の機器名または IP アドレスが表示されますので、お使いの VIA GO<sup>2</sup>を選択すると、デバイスの画像が VIA GO<sup>2</sup>に接続されたディスプレイに表示されます。

※注：一部メーカーの Android 端末では VIA がリストに表示されない等、非対応のものがあります。

- Windows 端末の場合

- 1) 投影したい画面を表示して、キーボードで[Windows マーク]とアルファベットキー[K]を同時に押します。

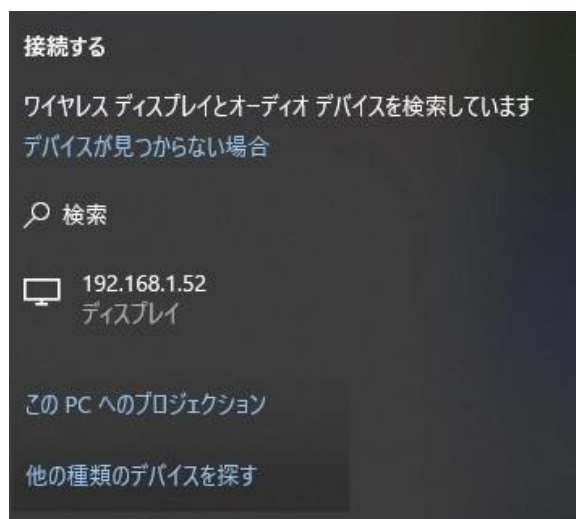


図 28 Windows キャスト画面

- 2) 上図 28 のようにキャスト可能なデバイスとして VIA GO<sup>2</sup> の IP アドレスが表示されますので、クリックします。

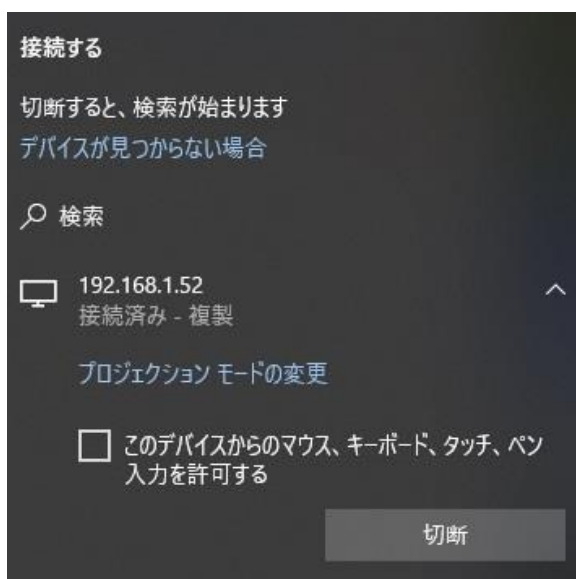


図 29 Windows キャスト画面（接続済）

- 3) VIA GO<sup>2</sup> に接続されると図 29 のように接続済となり、ディスプレイ上に PC の画像が投影されます。終了するには[切断]ボタンをクリックします。

## 4 VIA アプリでの接続（簡易版）

スマートフォン、タブレットに VIA アプリをインストールして VIA GO<sup>2</sup> に接続して画像を投影する方法を記載します。

詳細は別途発行する「VIA アプリの使用マニュアル」に記載します。

### 4.1 VIA アプリのインストール

モバイルデバイスをインターネットに接続し、

- iOS デバイスの場合→App ストアから
- Android デバイスの場合→Play ストアから

「Kramer VIA」と検索してアプリをダウンロードしてインストールします。

### 4.2 モバイルデバイスを Wi-Fi に接続する

モバイルデバイスを VIA GO<sup>2</sup> が接続されている外部 Wi-Fi アクセスポイント、または内蔵 Wi-Fi アクセスポイントに接続します。

### 4.3 VIA アプリを起動する

- 1) インストールしたアプリの VIA アイコンをクリックして起動します。



図 30 の画面が表示されます。（デバイスによって若干異なります）



図 30 VIA 起動画面

- 2) 「開始」バーをクリックすると、接続する VIA ユニット（スペース）を選択する画面が表示されます。これまで接続した VIA のルーム名がリストで表示されますが、もし候補が出てこない場合は検索枠にルーム名（IP アドレス）の最初の一文字を入れると候補が表示されます。



図 31 VIA 選択画面

- 3) 接続可能な VIA は画面上にメッセージで表示されます。接続したい VIA の「ログイン」マークをクリックします。
- 4) 下図 32 のような画面に切り替わり、同時に VIA のディスプレイ上に 4 桁のルームコードが表示されます。



図 32 ログイン画面

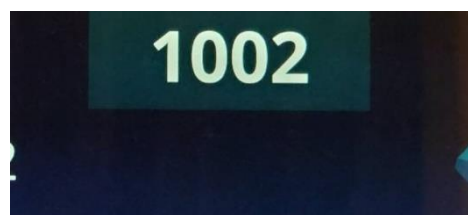


図 33 ルームコード表示

ログイン画面にはモバイル端末のニックネームが表示されます。（この名前は変更可能）

- 5) 画面に表示された4桁のルームコード(部屋コード)をログイン画面にて入力します。
- 6) ログインが完了すると、図34の左または右の画面が表示されます。

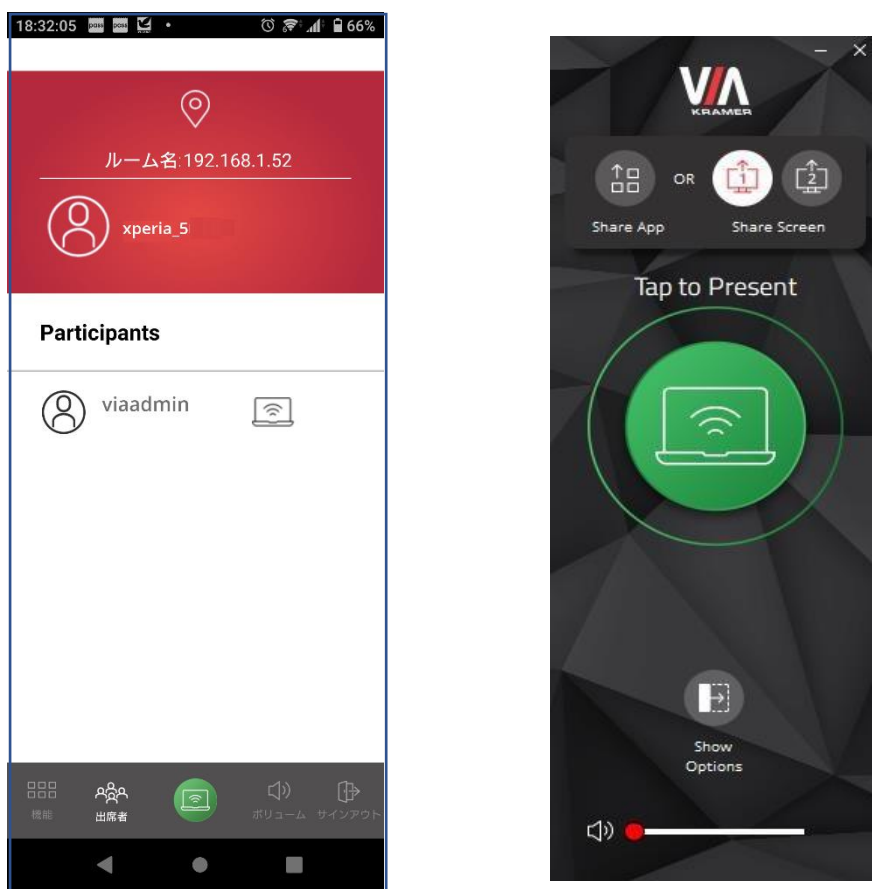


図 34 ログイン完了画面

#### 4.4 画面を投影する

図34の画面で、緑色の送信ボタンをクリックするとモバイル端末上に表示されている画像がVIAに接続されているディスプレイに投影されます。

緑色のボタンは投影中は赤色に変わります。投影を止めるにはこの画面を出して赤色のボタンをクリックします。

使用が終わったらVIAアプリを終了します。



KRAMER ELECTRONICS 日本総代理店  
株式会社コイケ 映像営業部

[www.kramer.jp](http://www.kramer.jp)